

Makita

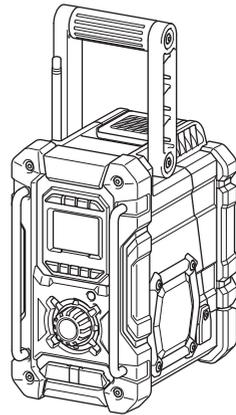
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式ラジオ

モデル MR106

 Bluetooth®



このたびは**充電式ラジオ**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全に正しくお使いいただくために	4
・ 各部の名称	8
・ 操作部	9
・ 表示部	9
・ 標準付属品	9
・ 使い方	10
・ バックアップ用乾電池の取り付け方	10
・ 一充電当たりの使用時間	11
・ スライド式バッテリーの取り付け、取りはずし方	12
・ 差し込み式バッテリーの取り付け、取りはずし方	13
・ バッテリーの回収について	13
・ ロッドアンテナの立て方と収納	14
・ AC アダプターの使い方	14
・ ラジオ放送を聞く	15
・ 自動選局	15
・ 手動選局	16
・ 放送局を登録して聞く（プリセット選局）	16
・ 登録した放送局を呼び出す	17
・ FM ステレオ / モノラル	17
・ Bluetooth 対応	18
・ Bluetooth 機器とのペアリング	18
・ Bluetooth 機器の切断	19
・ 時計とアラーム機能	20
・ 時間表示の設定	20
・ 時刻の設定	20
・ 年月日の設定	20
・ ラジオアラームの設定	21
・ ブザーアラームの設定	22
・ アラーム設定の解除	23
・ スヌーズ機能	23
・ おやすみタイマー機能	24
・ ラウドネス機能	24
・ 外部入力端子への接続	25
・ 携帯機器の充電	26
・ 保守・点検について	27
・ 本機のお手入れ	27
・ ご修理の際は	27

主要機能

主要機能		モデル	MR106
周波数帯域			FM : 76 ~ 108 MHz AM : 522 ~ 1710 kHz
アンテナ			FM : ロッドアンテナ AM : フェライトバーアンテナ
スピーカ			89 mm (8 Ω) × 2 個
入力端子			AUX IN 1、AUX IN 2 (φ 3.5 mm)
実用最大出力			7.2 V : 0.5 W × 2 10.8 V : 1.2 W × 2 14.4 V : 2.2 W × 2 18 V : 3.5 W × 2
電源			スライド式バッテリー : DC14.4 V、18 V 差し込み式バッテリー : DC7.2 V、10.8 V バックアップ用乾電池 : DC3 V (単 3 乾電池 2 本) 家庭用電源 : AC100 V、50/60 Hz (付属の AC アダプター使用)
USB 電源端子	出力電圧		直流 5.0 V
	出力電流		直流 1 A
	形状		USB A タイプ
Bluetooth	適合規格		Bluetooth Ver4.0
	対応プロファイル		A2DP (SCMS-T 対応)
	オーディオ コーデック		SBC
	通信距離		最大 10 m (使用環境によって異なる)
	送信出力		Class2
本機寸法			長さ 262 mm × 幅 163 mm × 高さ 431 mm (ハンドルを起こしたとき) 長さ 282 mm × 幅 163 mm × 高さ 294 mm (ハンドルを倒したとき)
質量 (バッテリー除く)			4.3 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全に正しくお使いいただくために

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷などを負う恐れがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
注	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること。
- 本機に貼ってあるラベルの適合マーク及び認証番号を消すこと。

Bluetooth®

Bluetooth について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

付属の AC アダプターは日本国内用です。



- ・ 付属のAC アダプターは、交流100V (AC100V) の家庭用電源コンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に物や水などを入れない。



- ・ 金属類や燃えやすい物、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐにロッドアンテナを収納する。



- ・ 落雷の原因となります。

濡れた手で AC アダプターの抜き差しをしない。



- ・ 感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたらときは・・・



- ・ 電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いて、バッテリーをはずし、お買い上げの販売店または当社営業所に修理をお申し付けください。



- ・ バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。



- ・ バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。



- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 警告

マキタが指定した専用バッテリー以外を使わないでください。



- ・ 改造したバッテリー(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む)を使用しないでください。工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。

バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。



- ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。



- ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、火災の恐れがあります。

USB 電源部の端子間を短絡(ショート)させないでください。



- ・ 針、針金が USB 電源端子部に入ると短絡(ショート)し、発火、発煙の恐れがあります。

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。



- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡(ショート)し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない。



- ・ 落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

火煙や湯気があたるような場所に置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。



- ・ 露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

密閉した自動車内など、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない。



- ・ 火災・事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使い方をしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液漏れをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。



- ・ 新しい乾電池と1度でも使用した乾電池を一緒に使用しない
- ・ 金属小物（かぎ、コイン、装飾品ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れない
- ・ 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- ・ 分解しない
- ・ ハンダ付けしない
- ・ 端子をショート（短絡）させない
- ・ 種類のちがう乾電池を一緒に使用しない
- ・ しばらく使わないときは、取り出しておく
- ・ 乾電池のプラスとマイナスの向きを、表示どおり正しく入れてください。
- ・ もし、液がもれた場合は、乾電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・ 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



- ・ 本機は乾いた布で拭いてください。ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。



- ・ 付属品はマキタ純正品を使用してください。故障の原因となります。

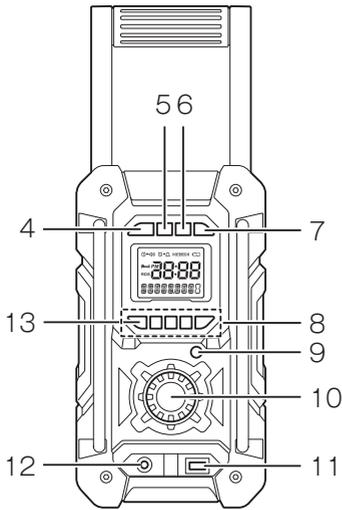
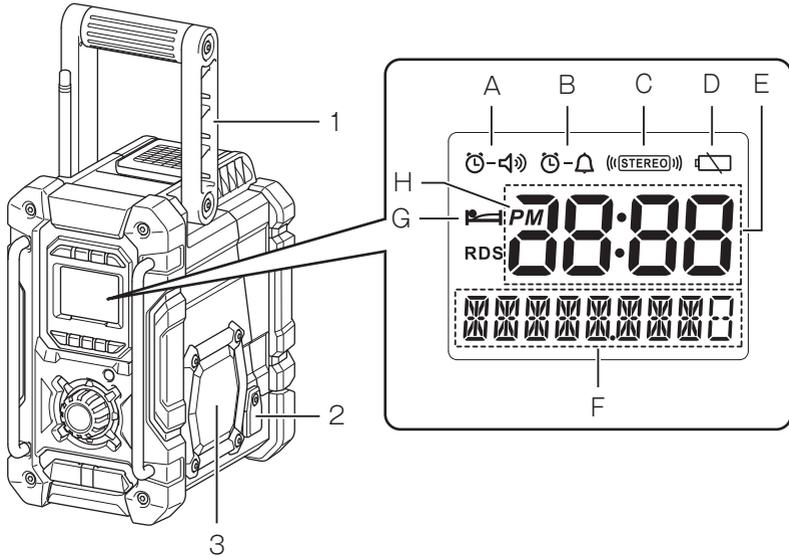


- ・ 雷が鳴ったり、長期間使用しない場合には、電源から電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因になります。

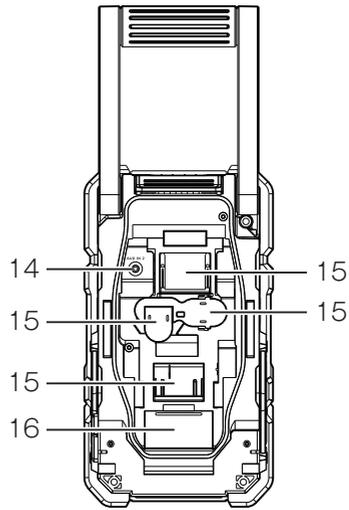


- ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発火、発煙の恐れがあります。

各部の名称



[正面]



[裏面]

各部の名称

操作部

1. ハンドル
2. ACアダプタージャック
3. スピーカ
4. 電源・おやすみタイマーボタン
5. ソースボタン
6. ラジオアラームボタン
7. ブザーアラームボタン
8. プリセットボタン
9. メニュー / 情報ボタン
10. 音量・選局ダイヤル
11. USB 出力端子
12. AUX IN 1 入力端子
13. PAIR ボタン
14. AUX IN 2 入力端子
15. バッテリ挿入口
16. バックアップ用乾電池収納部

表示部

- A. ラジオアラーム表示
- B. ブザーアラーム表示
- C. ステレオ表示
- D. バッテリ残容量不足表示
- E. 時刻表示
- F. 周波数表示
- G. おやすみタイマー
- H. PM 表示

標準付属品

- ・ ACアダプター (DC12 V 1.2 A)
- ・ バックアップ用乾電池 単3×2本

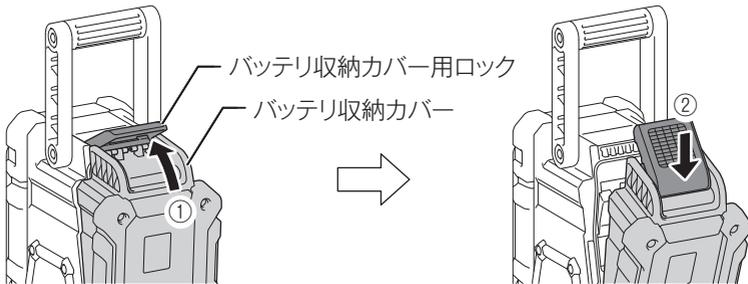
使い方

バックアップ用乾電池の取り付け方

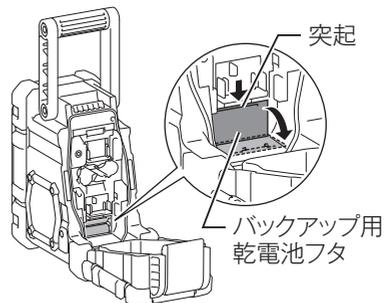
- ・ バッテリーやAC アダプターを抜いたときに、バックアップ用電池を入れておくと、登録や設定した内容を保持することができます。

注

- ・ “EMPTY” の文字が表示されたらバックアップ用の乾電池を交換してください。
1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。



2. バックアップ用乾電池フタの突起を下に押し込むようにして手前に開きます。
3. 乾電池のプラス・マイナス方向に注意して取り付け、フタを閉じます。



注

- ・ 乾電池のプラス・マイナス方向を間違えると、故障の原因になります。

使い方

—充電当たりの使用時間※ 1

バッテリーの種類・電圧				使用時間※ 2	
7.2 V	10.8 V	14.4 V	18 V	ラジオまたは AUX (外部入力)	Bluetooth +USB 充電
BL7010				約 5.5 時間	約 0.8 時間
		BL1411G		約 5.5 時間	約 1.5 時間
	BL1013			約 7.5 時間	約 1.5 時間
		BL1415 BL1413G			約 1.8 時間
			BL1815		約 2.0 時間
		BL1415N		約 8.5 時間	約 2.0 時間
		BL1430		約 16 時間	約 4.0 時間
			BL1830		約 5.0 時間
		BL1440		約 22 時間	約 5.5 時間
			BL1840		約 6.5 時間
		BL1450		約 27 時間	約 6.5 時間
			BL1850		約 8.0 時間

※ 1 使用時間は参考値です。バッテリーの充電状態や充電する携帯機器により異なります。

※ 2 JEITA 基準：電子情報技術産業協会基準（スピーカ出力：50 mW + 50 mW 時）

	差し込み式バッテリー
	スライド式バッテリー

使い方

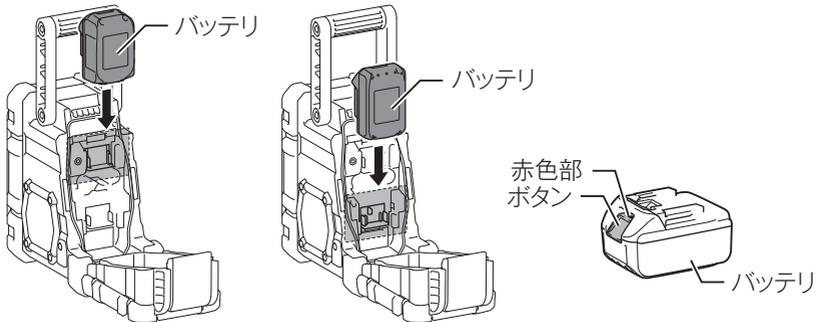
スライド式バッテリーの取り付け、取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。
2. バッテリーの種類にあった取り付け部に奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
3. バッテリー収納カバーを閉じ、ロックをします。



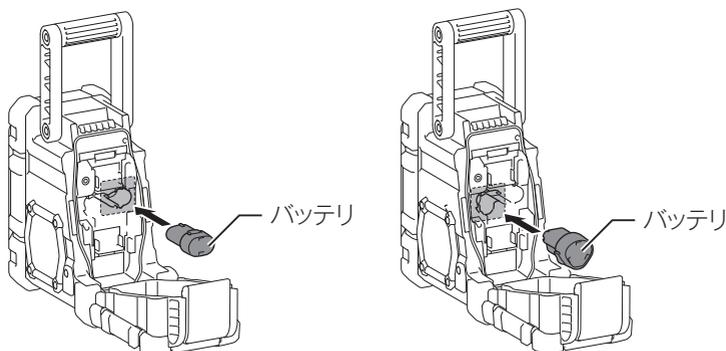
バッテリーを本機から取りはずすときは、

1. バッテリー正面のボタンを引き下げながら
2. スライドさせると取りはずせます。

使い方

差し込み式バッテリーの取り付け、取りはずし方

1. バッテリー収納カバー用ロックを①→②の順で操作し、バッテリー収納カバーを開きます。
2. バッテリーの種類にあった取り付け穴に奥まで挿入してください。
この際、無理な力をかけないでください。簡単に入らないときは、正しく挿入されていません。
3. バッテリー収納カバーを閉じ、ロックをします。



バッテリーを本機から取りはずすときは、バッテリー両側のボタンを押しながら引き抜きます。

注

- バッテリーは AC アダプターでは充電できません。
- ラジオの音が大きくなったり小さくなったりしたときやバッテリー容量が残り少ないことを示すマーク  と "POWERFAIL" が表示されたら充電したバッテリーと交換してください。

バッテリーの回収について

- 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。マキタ登録販売店、または当社営業所へご持参ください。



ニカドバッテリーは
リサイクルへ

Ni-Cd



ニッケル水素バッテリーは
リサイクルへ

Ni-MH



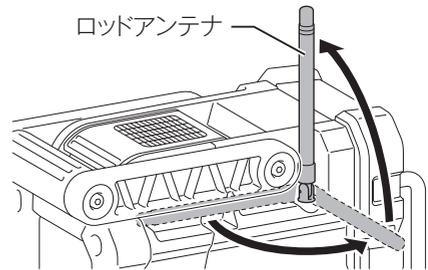
リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

Li-ion

使い方

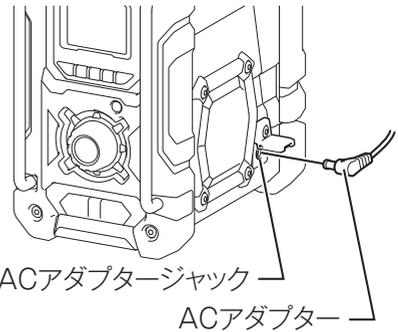
ロッドアンテナの立て方と収納

- ・ 図のようにロッドアンテナを90°回転させてから立てます。
収納するときは、逆の手順で行います。



AC アダプターの使い方

1. ゴムカバーをめくり、AC アダプタージャックへ AC アダプターをつなぎます。
2. AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにつなぎます。
AC アダプターを使用しているときにはバッテリーは自動的に接続が切れます。



注

- ・ AM 放送受信時には AC アダプターによって雑音などの影響がでることがあります。本機を AC アダプターより 30 cm 以上離してください。
- ・ AC アダプターではバッテリーの充電はできません。
- ・ 本機を使用しないときは AC アダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

使い方

ラジオ放送を聞く

- ・ 自動選局、手動選局、登録（プリセット）選局の3通りの選局方法があります。

自動選局

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。本機の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響する機器の近くでは操作しないでください。
3. 音量・選局ダイヤル  を長押しすると、周波数の数字が変わり選局が始まります。電波の強い放送局だけを選んで自動的に受信します。
4. 受信後、数秒経つと再び選局を開始します。
5. 周波数帯の終わりまでくると、最小の周波数から選局が再開します。
6. 受信時に  を押すと放送局が確定します。
7. 音量調整のため  を回すと、音量のレベルが表示されます。
8. 再度選局を開始する場合は、 を長押しすると選局が再開します。
9. ラジオを消す場合は  を押します。同時に表示も消えます。

注

- ・ ステレオ放送を受信した場合は、ステレオマーク (「(STEREO)」) が表示されます。(FM 放送のみ)
- ・ 受信したときに音量・選局ダイヤル  を再び押さないと、次の放送局を探し始めます。
- ・ 音量調整の際、音量・選局ダイヤル  を押すと、音量調整モードから選局モードに切り替わります。
- ・ 音量調整の際、FM/AM 表示が点滅していないことを確認してください。点滅していると手動選局できる状態を表します。

使い方

手動選局

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。本機の向きを変えて受信しやすい位置にします。コンピュータ画面などのラジオに影響する機器の近くでは操作しないでください。
3. 音量・選局ダイヤル  を一度押して選局モード (FM・AM 表示が点滅) にし、希望する放送局を受信するまで回します。  を回すと次の周波数刻みで変化します。
FM : 50 kHz (0.05 MHz)
AM : 9 kHz

注

- 選局モード中は FM または AM 表示が約 10 秒点滅します。その間に操作しなければ自動的に選局モードが解除され、音量モードになります。
 - 音量・選局ダイヤル  は音量調整モード時に押すと選局モード (FM・AM 表示が点滅) に、選局モード時に押すと音量モードになります。1 回押すごとに選局モードと音量モードの切替えができます。
4.  を回して希望する放送局を受信したら、  を押して確定します。
 5. 音量を調整します。
 6. ラジオを消す場合は  を押します。同時に表示も消えます。

放送局を登録して聞く (プリセット選局)

AM 放送、FM 放送は各々、5 局まで登録できます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。
3. 登録したい放送局を受信します。(自動選局、手動選局)
4. 登録したい放送局の周波数が表示されたら、プリセットボタン  (1 ~ 5 のどれか) を長押しし (2 秒以上)、登録します。
5. ピツと音がして、選んだプリセットボタンの表示がされます。
例：FM 放送の 77.80Hz をプリセットボタン 3 に登録した場合⇒ FM77.80P3
6. ほかの放送局を登録するには操作 1 ~ 3 を繰り返します。

注

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

使い方

登録した放送局を呼び出す

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、ラジオバンド (FM/AM) を選びます。
3. プリセットボタン  (1 ~ 5) を押し、登録した放送局の周波数が表示されます。

FM ステレオ / モノラル

FM 放送を聞く場合、ノイズが聞こえることがあります。この場合、モノラルモード “FM mono” で放送を聞くことによりノイズを減らすことができます。

1. FM 放送受信時に、メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回し、“FM Auto/mono” を表示します。
3. “FM Auto” 表示のとき、 を押しと “Auto” が点滅します。
4.  を回して “mono” 表示にし、 を押ししてモノラルモードに設定します。

使い方

Bluetooth 対応

本機を Bluetooth 機器と接続して、音楽などをワイヤレスで再生することができます。

Bluetooth 機器とのペアリング

● Bluetooth 機器を登録して再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT READY” が表示され、“READY” が 2 秒間隔で点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、ペアリングができるようにします。
4. PAIR ボタン  を押し、離すと “BT PAIR” が表示され、1 秒間隔で点滅します。これで本機をサーチすることができます。
5. Bluetooth 機器のメニューに “MR106” が表示されたら選択します。
古いタイプの携帯電話の場合 (BT2.1 より古いバージョンの場合)、PIN コード “0000” を入力する必要がある場合があります。
6. Bluetooth 機器と本機がペアリングされます。
7. ペアリングが完了すると、“BLUETOOTH” が表示されたままになり、その後バックライトが約 10 秒以内に暗くなります。
8. Bluetooth 機器で再生された音楽が本機のスピーカで聞くことができます。

●登録済みの Bluetooth 機器を再生する

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
2. ソースボタン  を押し、BT (Bluetooth) モードを選びます。
“BT READY” が表示され、“READY” が 2 秒間隔で点滅します。
3. お手持ちの Bluetooth 機器のメニューで “MR106” を選択して接続します。機器によっては自動的に接続されます。
4. Bluetooth 機器で再生された音楽が本機のスピーカで聞くことができます。

注

- 本機は最大 8 台までの *Bluetooth* 機器を登録できます。最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
- 2 つの *Bluetooth* 機器が本機を同時にサーチする場合、両方の機器に本機がペアリング可能であると表示されます。
- 一時的に *Bluetooth* 機器が本機と切断されたとき、ペアリングから設定する必要があります。
- もしお手持ちの *Bluetooth* 機器上に "MR106" が表示されていながら接続ができない場合は、お手持ちの *Bluetooth* 機器のメニューから "MR106" を削除し、ペアリングから設定してください。
- 本機とペアリングされた機器の有効距離は約 10 m です。
- 本機と *Bluetooth* 機器の間に障害物がある場合は有効距離は短くなります。

Bluetooth 機器の切断

Bluetooth 機器を切断するためには、PAIR ボタン  を 2-3 秒押し続けてください。"BLUETOOTH" がディスプレイから消え、*Bluetooth* がオフになったことを示します。

使い方

時計とアラーム機能

時間表示の設定

- ・ 時間はスタンバイモードや再生モード時に表示画面に表示されます。時間表示は12時間と24時間の設定ができます。アラーム設定時にもその設定が使用されます。
1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
 2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ** H” を表示します。
 3.  を押して、“** H” が点滅したら、 を回して、12Hまたは24Hを選択します。
 4.  を押すと確定します。

時刻の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“CLOCK ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 時表示が点滅します。  を回して時を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、分表示が点滅します。  を回して分を合わせてから押すと確定します。

年月日の設定

1. メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回して、“DATE ADJ” を表示します。さらに  を押して設定モードにします。
3. 年表示が点滅します。  を回して年を合わせてから押すと確定します。
4. 次に、月表示が点滅します。  を回して月を合わせてから押すと確定します。
5. 次に、日表示が点滅します。  を回して日を合わせてから押すと確定します。

使い方

ラジオアラームの設定

ラジオアラームを設定すると、設定した時刻にラジオ放送を聞くことができます。

ラジオアラームは電源・おやすみタイマーボタン  を押さなければ、1時間鳴っています。

1. ラジオアラームは電源の「入」「切」にかかわらず設定できます。
2. ラジオアラームボタン  を長押しするとラジオアラームマーク  と時間表示が点滅します。(約10秒間)
3. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
4. 次に分表示が点滅します、同様にして分を確定します。
5. 次にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが1回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日(月曜日～金曜日)に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末(土曜日・日曜日)に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。
6. FM・AMを選択します。FMが点滅しているところで、 を回し、FM・AMを確定します。
次に周波数が表示されますので、 を回してお望みの周波数に合わせ、 を押せば周波数が確定します。このときプリセットボタンでも周波数を合わせることができます。

注

- ・ 設定した周波数で受信できない場合、代わりにブザーが鳴ります。
7. 最後にアラームの音量を設定します。音量は“VOLUME 10”のように表示されますので、 を回しお望みの音量に合わせ、 を押すと確定します。
ラジオアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。

使い方

ブザーアラームの設定

ブザーアラームが設定されると、設定した時刻にアラームが鳴り始めます。このアラーム音は次のサイクルで1時間繰り返します。

(①→②→③→②→③→・・・→③→②→アラーム音停止)

①：設定時刻で音がし始めます。

②：45秒間に3種類のアラームで鳴り続けます。

③：1分15秒間停止します。

ブザーアラームが鳴ったら電源・おやすみタイマーボタン  を押してください。

1. ブザーアラームは電源の「入」「切」にかかわらず設定できます。
2. ブザーアラームボタン  を長押しするとブザーアラームマーク  と時表示が点滅します。(約10秒間)
3. 点滅している間に、音量・選局ダイヤル  を回し、お望みの時間に合わせたあと、 を押すと時間が確定します。
4. 次に分表示が点滅します、同様にして分を確定します。
5. 最後にアラームを鳴らす間隔を設定します。以下の表示から選択します。
ONCE：アラームが1回鳴ります。
DAILY：アラームが毎日鳴ります。
WEEKDAY：アラームは平日(月曜日～金曜日)に鳴ります。
WEEKEND：アラームは週末(土曜日・日曜日)に鳴ります。
アラーム間隔の表示が点滅します。 を回し、お望みの表示に合わせ、 を押すとアラーム間隔が確定します。

注

- ブザーアラームを設定した場合、音量の設定はできません。
- ブザーアラームが設定されていると、画面に  が表示されます。
- ラジオアラームおよびブザーアラームは、時刻を設定していない場合使用できません。

使い方

アラーム設定の解除

- ・ アラーム設定を解除するには、電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
- ・ ラジオアラームボタン  またはブザーアラームボタン  を長押しすれば解除され、画面からラジオアラームマーク  またはブザーアラームマーク  が消えます。

スヌーズ機能

1. アラーム音が鳴っている間に電源・おやすみタイマーボタン  以外のボタンを押すとアラーム音が消えますが、5 分後、再びアラーム音が鳴ります。(スヌーズ機能)
このとき、“SNOOZE” が表示されます。
2. スヌーズ機能の設定時間を変えるには、メニュー / 情報ボタン  を長押しします。
3. “SNOOZE **” の表示がされるまで音量・選局ダイヤル  を回します。
4.  を押し、スヌーズ機能の時間設定モードに入ります。
5. 時間は5分間隔で20分まで設定できます。 を回すと、SNOOZE 5、10、15、20 と表示されますので、設定する時間表示になったら、 を押して確定します。
6. アラームが中断している間に、 を押せば、スヌーズ機能が働かない状態にできます。

使い方

おやすみタイマー機能

おやすみタイマーを設定すると設定した時間で電源を切ることができます。おやすみタイマーは、15分、30分、45分、60分、90分、120分の設定ができます。

1. 電源・おやすみタイマーボタン  を長押しするとおやすみタイマー時間“SLEEP **”が画面に表示されます。
2. さらに  を長押し続けるとおやすみタイマーの設定時間（分）が60→45→30→15→120→90→60の順番で繰り返し表示されます。希望するおやすみ時間が表示されたら  を離します。おやすみタイマーマーク  が表示され、最後に設定した放送局が流れます。
3. おやすみタイマーの設定時間になると自動的に電源が切れます。
4. 解除するときは  を押します。おやすみタイマーマーク  が消え、本機の電源が切れます。

ラウドネス機能

ラウドネス機能を働かせることにより、低音域から高音域まで音が聞きやすくなります。

1. メニュー／情報ボタン  を長押しします。
2. 音量・選局ダイヤル  を回し、“LOUD ON”または“LOUD OFF”表示させます。
3. “LOUD OFF”ならば、 を押し、“OFF”を点滅させます。
4.  を回し、“LOUD ON”表示にします。
5.  を押すと、“LOUD ON”表示が確定し、ラウドネス機能が働きます。

使い方

外部入力端子への接続

- ・ 本機には前面にAUX IN1、バッテリーカバーの中にAUX IN2の2つの外部入力端子があります。
1. 外部機器（例：iPod、MP3、CD プレイヤーなど）のオーディオコードを外部入力端子に接続します。
 2. AUX IN *が表示されるまでソースボタン  を繰り返し押します。
 3. 外部機器で音量調整をします。必要に応じ本機の音量・選局ダイヤル  でも音量調整をします。

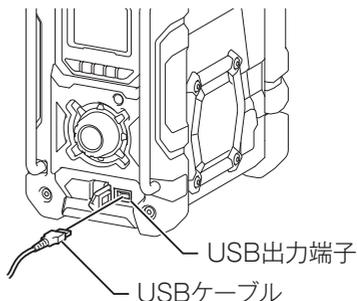
注

- ・ 外部機器を接続する際は、必ず電源を切ってください。

使い方

携帯機器の充電

- ・ 本機には前面にUSB出力端子があり、携帯機器などに充電ができます。
1. 外部機器（例：iPod、MP3、CD プレイヤーなど）を市販のUSB ケーブルで接続します。



2. 電源・おやすみタイマーボタン  を押し、電源を入れます。
3. バッテリ / AC アダプタ使用にかかわらず、電源 ON で「FM」「BT」および外部入力端子接続時は「AUX」のいずれかのモード時に USB 端子から携帯機器に充電ができます。
※ AM ラジオ放送では、USB 充電時に受信状態が極端に悪くなるため充電することができません。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した携帯機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・ 携帯機器の種類によっては動作しない、または充電できない機種があります。
- ・ パソコンの USB 端子と接続しないでください。故障の原因になります。
- ・ 充電中はスピーカからの音量レベルが低くなります。
- ・ バッテリの消耗を防ぐため、充電完了後は USB 出力端子から USB ケーブルをはずしてください。

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

MR106-MJ-0415
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)